



2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日
東

上場会社名 アトムクス株式会社 上場取引所
コード番号 4625 URL <https://www.atomix.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮里 勝之
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理統括部長 (氏名) 富士田 学 (TEL) 03 (3969) 0471
定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
有価証券報告書提出予定日 2026年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	12,763	3.4	569	62.2	606	65.9	945	313.0
2025年3月期	12,348	1.9	350	△2.6	365	△4.4	228	△4.3

(注) 包括利益 2026年3月期 974百万円(279.1%) 2025年3月期 257百万円(△13.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	177.58	—	8.8	3.9	4.5
2025年3月期	43.00	—	2.2	2.4	2.8

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	16,365	11,231	68.6	2,109.07
2025年3月期	15,025	10,351	68.9	1,945.17

(参考) 自己資本 2026年3月期 11,231百万円 2025年3月期 10,351百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	637	△97	△35	3,336
2025年3月期	1,020	△652	△131	2,831

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00	97	39.5	0.9
2026年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	114	11.3	1.0
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00		—	

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	△7.4	75	△71.4	85	△69.4	35	△81.8
通 期	12,500	△2.1	430	△24.4	460	△24.1	300	△68.3

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期	7,242,000株	2025年3月期	7,242,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期	1,916,845株	2025年3月期	1,920,245株
③ 期中平均株式数	2026年3月期	5,322,080株	2025年3月期	5,321,542株

(参考) 個別業績の概要

1. 2026年3月期の個別業績(2025年4月1日~2026年3月31日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	11,304	3.0	484	76.1	536	77.7	901	392.5
2025年3月期	10,976	2.1	275	14.9	301	9.5	183	12.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年3月期	169.47		—					
2025年3月期	34.41		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	14,896	10,116	67.9	1,899.68
2025年3月期	13,616	9,283	68.2	1,744.52

(参考) 自己資本 2026年3月期 10,116百万円 2025年3月期 9,283百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種政策の効果もあり緩やかな回復基調が続いているものの、地政学的リスクの拡大による原材料価格等の高騰に加え、円安や金利引き上げによる物価上昇により依然として先行きが不透明な状況が続いています。このような状況の中、当社グループは第14次三ヵ年計画の最後の期である当期において、その目標を達成させるとともに、新たな組織（営業変革推進室）を立ち上げる等「変革」をキーワードに掲げ各事業部において現業務の見直し等の取り組みを行い効率化、生産性の向上を行い経費低減を進め、自助努力にて補えない部分は価格改定を行い利益確保に努めてきました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高127億63百万円（前連結会計年度123億48百万円）、営業利益5億69百万円（同 3億50百万円）、経常利益6億6百万円（同 3億65百万円）、法人税等調整額△1億21百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益9億45百万円（同2億28百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

<塗料販売事業>

道路用塗料においては、「国土強靱化」「維持・補修」の施策及び自転車道整備関連の公共工事の発注が順調に推移し路面標示塗料、視覚障がい者関連製品が伸長し前年を上回りました。建築用塗料においては、戸建ての需要の低迷により防水材関連は減少したものの、高機能な屋根材が伸長し前年を上回りました。床用塗料においては、新規顧客の獲得と第4四半期期間において、高耐久製品及び水性関連製品が伸長し前年を上回りました。家庭用塗料においては、継続してホームセンターへの企画提案活動を行っていますが個人消費の節約志向が強く前年を若干下回りました。アトムレイズ（水性アクリルゴム系塗膜防水材）は、大型改修物件の獲得により前年を上回りました。

この結果、当連結会計年度の塗料販売事業の売上高は、前年同期と比べて3億34百万円増加し、118億36百万円（前年同期比2.9%増）となりました。

<施工事業>

床材工事の受注が減少しましたが、子会社アトムテクノスで受注した長期工事が完工し当該工事の設計変更等により売上額が増額し前年を上回りました。

この結果、当連結会計年度の施工事業の売上高は前年同期と比べて80百万円増加し、9億27百万円（前年同期比9.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて13億40百万円増加し、163億65百万円となりました。この要因となった流動資産、固定資産の状況は次のとおりです。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15億91百万円増加し、103億円となりました。これは主に、現金及び預金で14億5百万円、受取手形、売掛金及び契約資産で51百万円、電子記録債権で1億25百万円増加したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億50百万円減少し、60億65百万円となりました。これは主に、建物及び構築物で2億57百万円、投資有価証券で1億39百万円、繰延税金資産で98百万円、その他（主に長期前払費用・差入保証金）で97百万円増加したものの、土地で8億79百万円減少したことによるものです。

また、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて4億70百万円増加し、45億23百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金で1億84百万円、電子記録債務で51百万円減少したものの、短期借入金で1億円、未払法人税等で3億89百万円、賞与引当金で1億83百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、6億11百万円となりました。これは主に、株式給付引当金で14百万円増加したものの、役員退職慰労引当金で7百万円、その他（主にリース債務）で13百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて8億79百万円増加し、112億31百万円となりました。これは主に、配当金で97百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金で25百万円、親会社株主に帰属する当期純利益で9億45百万円増加したことによるものです。

（３）当期のキャッシュ・フローの概況

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、得られた資金は6億37百万円（前連結会計年度は10億20百万円獲得）となりました。これは主に、固定資産売却損益で7億28百万円、売上債権の増加で1億77百万円、仕入債務の減少で2億36百万円、法人税等の支払額で1億48百万円減少したものの、税金等調整前当期純利益で13億47百万円、減価償却費で4億97百万円、賞与引当金の増加で1億83百万円増加したことによるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、使用した資金は97百万円（前連結会計年度は6億52百万円使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却による収入で16億65百万円増加したものの、有形固定資産の取得で6億26百万円、無形固定資産の取得で1億45百万円、定期預金の預入れによる支出で9億円支出したことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、使用した資金は35百万円（前連結会計年度は1億31百万円使用）となりました。これは主に、短期借入金により1億円増加したものの、配当金の支払額で96百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出で38百万円支出したことによるものです。

これらの結果、当連結会計年度における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて5億5百万円増加し33億36百万円となりました。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月	2023年3月	2024年3月	2025年3月	2026年3月
自己資本比率	68.6	69.4	67.1	68.9	68.6
時価ベースの自己資本比率	22.7	25.8	25.0	21.3	26.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.3	0.6	0.2	0.1	0.3
インタレスト・カバレッジ・レシオ	282.1	161.3	499.3	1,404.0	369.7

（注） 1. 自己資本比率 : 自己資本／総資産×100

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産×100

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

2. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

3. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

4. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

5. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、経済活動が緩やかに回復していくことを期待されるものの、中東情勢の緊迫化による資源・原材料の高騰、調達不安により先行きが不透明な状況が続くと予想され、また、このまま現在の中東情勢が続いた場合、原材料や副資材の調達困難により生産できない製品が発生し市場への製品供給不足の発生、市場の停滞による受注減といったリスクが見込まれます。このような環境のもと当社は、まず中東情勢に対しメーカーとしての供給責任を果たせるようプロジェクトを立ち上げ対応していくとともに、第79期より掲げた「変革」を推進し、水性製品への加速化、新製品の上市、新たな販路拡大を行い企業価値の向上に努めていきます。また、当社の価値基準である「安全」「安心」「快適」を皆様に提供することができる製品開発を進めていきます。

2027年3月期の連結業績は売上高125億円、営業利益4億30百万円、経常利益4億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を見込んでいます。

なお、上記に記載しましたとおり、中東情勢により先行きが不透明な状況にあるため、業績予想は大きく変わる可能性があります。業績予想の数値に修正が必要になった場合は適時開示します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者は、主として国内の株主、債権者、取引先等であり海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しています。なお、IFRS適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,831,524	4,236,836
受取手形、売掛金及び契約資産	2,674,334	2,726,231
電子記録債権	1,033,267	1,158,964
商品及び製品	1,250,003	1,208,793
仕掛品	186,735	215,350
原材料及び貯蔵品	701,976	686,278
その他	42,238	72,068
貸倒引当金	△10,700	△3,802
流動資産合計	8,709,380	10,300,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,127,732	5,405,757
減価償却累計額	△4,017,221	△4,037,309
建物及び構築物（純額）	1,110,510	1,368,447
機械装置及び運搬具	3,795,232	3,863,021
減価償却累計額	△3,347,764	△3,366,023
機械装置及び運搬具（純額）	447,467	496,997
土地	3,285,953	2,406,000
建設仮勘定	44,561	806
その他	1,128,306	1,204,423
減価償却累計額	△940,237	△980,195
その他（純額）	188,069	224,227
有形固定資産合計	5,076,561	4,496,480
無形固定資産	424,170	418,016
投資その他の資産		
投資有価証券	565,252	705,154
出資金	2,040	2,040
繰延税金資産	96,476	194,915
その他	174,551	271,813
貸倒引当金	△23,251	△23,265
投資その他の資産合計	815,068	1,150,657
固定資産合計	6,315,800	6,065,154
資産合計	15,025,180	16,365,875

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,058,356	873,492
電子記録債務	1,879,459	1,828,084
短期借入金	100,000	200,000
未払法人税等	109,047	498,923
賞与引当金	124,926	308,400
環境対策引当金	34,520	-
クレーム費用引当金	4,841	-
その他	741,800	814,778
流動負債合計	4,052,952	4,523,679
固定負債		
役員退職慰労引当金	76,688	68,786
株式給付引当金	146,287	160,522
退職給付に係る負債	268,675	267,323
資産除去債務	44,809	45,266
その他	84,028	69,168
固定負債合計	620,489	611,068
負債合計	4,673,441	5,134,747
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,040,000	1,040,000
資本剰余金	754,293	754,293
利益剰余金	9,276,493	10,124,290
自己株式	△1,009,725	△1,007,706
株主資本合計	10,061,060	10,910,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	267,282	292,867
退職給付に係る調整累計額	23,396	27,384
その他の包括利益累計額合計	290,678	320,251
純資産合計	10,351,739	11,231,128
負債純資産合計	15,025,180	16,365,875

(2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高		
商品及び製品売上高	11,501,411	11,836,000
工事売上高	847,087	927,250
売上高合計	12,348,499	12,763,250
売上原価		
商品及び製品売上原価	8,321,735	8,297,811
工事売上原価	730,498	782,516
売上原価合計	9,052,233	9,080,328
売上総利益	3,296,266	3,682,922
販売費及び一般管理費		
運賃	714,433	708,646
貸倒引当金繰入額	△1,964	△6,882
給料及び手当	889,506	876,984
退職給付費用	23,043	23,127
役員退職慰労引当金繰入額	10,363	9,979
賞与引当金繰入額	59,192	154,673
減価償却費	120,625	148,617
その他	1,130,294	1,198,707
販売費及び一般管理費合計	2,945,496	3,113,854
営業利益	350,770	569,068
営業外収益		
受取利息	358	1,288
受取配当金	12,395	16,520
為替差益	1,213	135
受取家賃	4,200	4,200
受取保険金	1,046	18
補助金収入	-	5,000
株式給付引当金戻入額	1,846	2,437
その他	9,386	9,328
営業外収益合計	30,445	38,927
営業外費用		
支払利息	681	1,590
事故関連損失	15,000	-
営業外費用合計	15,681	1,590
経常利益	365,534	606,406
特別利益		
固定資産売却益	49	728,016
投資有価証券売却益	-	9,668
環境対策引当金戻入益	-	7,201
固定資産受贈益	-	2,140
特別利益合計	49	747,025
特別損失		
固定資産除却損	848	5,507
リース解約損	124	-
環境対策引当金繰入額	33,277	-
特別損失合計	34,250	5,507

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
税金等調整前当期純利益	331,333	1,347,924
法人税、住民税及び事業税	112,742	524,750
法人税等調整額	△10,245	△121,966
法人税等合計	102,496	402,784
当期純利益	228,836	945,140
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	228,836	945,140
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,100	25,584
退職給付に係る調整額	12,158	3,987
その他の包括利益合計	28,258	29,572
包括利益	257,095	974,712
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	257,095	974,712
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,040,000	740,308	9,142,675	△996,736	9,926,247
当期変動額					
剰余金の配当			△95,019		△95,019
親会社株主に帰属する当期純利益			228,836		228,836
自己株式の処分				995	995
自己株式の株式給付 信託への譲渡		13,984		69,402	83,387
自己株式の株式給付 信託からの譲受				△83,387	△83,387
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	13,984	133,817	△12,989	134,813
当期末残高	1,040,000	754,293	9,276,493	△1,009,725	10,061,060

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	251,182	11,238	262,420	10,188,667
当期変動額				
剰余金の配当				△95,019
親会社株主に帰属する当期純利益				228,836
自己株式の処分				995
自己株式の株式給付 信託への譲渡				83,387
自己株式の株式給付 信託からの譲受				△83,387
株主資本以外の項目 の当期変動額（純額）	16,100	12,158	28,258	28,258
当期変動額合計	16,100	12,158	28,258	163,071
当期末残高	267,282	23,396	290,678	10,351,739

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,040,000	754,293	9,276,493	△1,009,725	10,061,060
当期変動額					
剰余金の配当			△97,342		△97,342
親会社株主に帰属する当期純利益			945,140		945,140
自己株式の処分				2,018	2,018
自己株式の株式給付信託への譲渡					-
自己株式の株式給付信託からの譲受					-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	847,797	2,018	849,816
当期末残高	1,040,000	754,293	10,124,290	△1,007,706	10,910,876

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	267,282	23,396	290,678	10,351,739
当期変動額				
剰余金の配当				△97,342
親会社株主に帰属する当期純利益				945,140
自己株式の処分				2,018
自己株式の株式給付信託への譲渡				-
自己株式の株式給付信託からの譲受				-
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	25,584	3,987	29,572	29,572
当期変動額合計	25,584	3,987	29,572	879,388
当期末残高	292,867	27,384	320,251	11,231,128

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	331,333	1,347,924
減価償却費	410,646	497,808
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△23,273	△6,882
賞与引当金の増減額 (△は減少)	22,570	183,473
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10,363	△7,901
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,114	14,030
退職給付に係る調整累計額の増減額 (△は減少)	△4,620	△8,966
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	17,767	16,254
クレーム費用引当金の増減額 (△は減少)	△9,059	△4,841
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	170	△34,520
受取利息及び受取配当金	△12,753	△17,808
受取保険金	△1,046	△18
補助金収入	-	△5,000
固定資産受贈益	-	△2,140
支払利息	681	1,590
事故関連損失	15,000	-
為替差損益 (△は益)	0	-
固定資産売却損益 (△は益)	△49	△728,016
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△9,668
固定資産除却損	848	5,507
リース解約損	124	-
売上債権の増減額 (△は増加)	687,368	△177,593
棚卸資産の増減額 (△は増加)	162,623	25,091
仕入債務の増減額 (△は減少)	△416,480	△236,239
その他	△42,263	△87,373
小計	1,158,065	764,709
利息及び配当金の受取額	12,753	17,808
保険金の受取額	1,046	18
補助金の受取額	-	5,000
利息の支払額	△727	△1,725
法人税等の支払額	△135,320	△148,069
事故関連損失の支払額	△15,000	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,020,817	637,741
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△469,527	△626,241
有形固定資産の売却による収入	50	1,665,946
無形固定資産の取得による支出	△183,510	△145,152
投資有価証券の取得による支出	△607	△105,618
投資有価証券の売却による収入	-	13,009
定期預金の預入による支出	-	△900,000
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	1,018	858
投資活動によるキャッシュ・フロー	△652,577	△97,199

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	100,000	200,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△15,000	-
自己株式の取得による支出	△73,387	-
自己株式の処分による収入	83,387	-
配当金の支払額	△94,538	△96,823
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△32,100	△38,406
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,638	△35,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	-
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	236,601	505,312
現金及び現金同等物の期首残高	2,594,922	2,831,524
現金及び現金同等物の期末残高	2,831,524	3,336,836

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、取り扱う製品とサービスについて、国内及び海外の包括的な総合戦略を立案し、事業活動を展開しています。従って当社グループは、製品・サービス別のセグメントから構成されており、「塗料販売事業」、「施工事業」の2つを報告セグメントとしています。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「塗料販売事業」は、道路用塗料、建築用塗料、家庭用塗料、複合防水材等の製造及び販売を行っています。

「施工事業」は、当社の製品を用いた工事を行っています。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表の作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一です。

また、セグメント間の売上高は、第三者間取引価格に基づいています。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,501,411	847,087	12,348,499	12,348,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34,710	—	34,710	34,710
計	11,536,122	847,087	12,383,210	12,383,210
セグメント利益	673,944	54,864	728,809	728,809
セグメント資産	10,053,105	831,286	10,884,392	10,884,392
その他の項目				
減価償却費	336,515	4,206	340,722	340,722
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	704,016	19,041	723,058	723,058

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗料販売事業	施工事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	11,836,000	927,250	12,763,250	12,763,250
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,977	—	30,977	30,977
計	11,866,978	927,250	12,794,228	12,794,228
セグメント利益	859,749	80,492	940,242	940,242
セグメント資産	9,744,952	878,312	10,623,264	10,623,264
その他の項目				
減価償却費	419,021	7,759	426,781	426,781
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	794,523	4,921	799,445	799,445

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,383,210	12,794,228
セグメント間取引消去	△34,710	△30,977
連結財務諸表の売上高	12,348,499	12,763,250

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	728,809	940,242
全社費用(注)	△378,039	△371,173
連結財務諸表の営業利益	350,770	569,068

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用です。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	10,884,392	10,623,264
全社資産(注)	4,140,788	5,742,611
連結財務諸表の資産合計	15,025,180	16,365,875

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない当社での余資運用資金(現金及び預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び管理部門に係る資産等です。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	340,722	426,781	69,924	71,026	410,646	497,808
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	723,058	799,445	21,644	3,306	744,702	802,752

(関連情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が、連結損益及び包括利益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

国内に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益及び包括利益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客がないため、記載を省略しています。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しています。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が、連結損益及び包括利益計算書の売上高の90%超であるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

国内に所在している有形固定資産の金額が、連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益及び包括利益計算書の売上高の10%以上を占める特定の顧客がないため、記載を省略しています。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり純資産額及び算定上の基礎ならびに1株当たり当期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

項目	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
(1) 1株当たり純資産額	1,945円17銭	2,109円07銭
(算定上の基礎)		
純資産の部の合計額(千円)	10,351,739	11,231,128
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,351,739	11,231,128
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	5,321	5,325

項目	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
(2) 1株当たり当期純利益金額	43円00銭	177円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	228,836	945,140
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	228,836	945,140
期中平均株式数(千株)	5,321	5,322

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
2. 株主資本において自己株式として計上されている日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)に残存する自社の株式は、1株当たり純資産額の算定上、期末発行済株式総数から控除する自己株式に含めています。また、1株当たり当期純利益金額の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。なお、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与ESOP信託口)が所有する期末自己株式数は前連結会計年度404,300株、当連結会計年度400,900株で、期中平均株式数は前連結会計年度273,508株、当連結会計年度403,975株です。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。